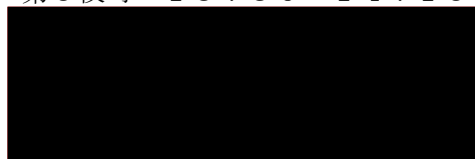


第6学年 社会科学習指導案

日 時 令和5年5月31日(水)

第5校時 13:30~14:15



1 単元名 原始の変化を伝えよう(縄文から弥生へ)

2 単元の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性
大昔の日本で縄文から弥生へと暮らしの様子が変化したことについて理解するとともに、遺跡や出土品、年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	縄文時代、弥生時代の特色、出来事や人物の関連や意味を多角的に考える力、その時代の社会に見られる課題を把握する力、考えたことが相手に伝わるように表現する力を養う。	大昔の日本の暮らしについて、主体的に学習の問題を解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の歴史や伝統を大切にして国を愛する心情を養う。

3 単元の評価規準

	ア 知識及び技能	イ 思考、判断、表現等	ウ 主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	① 世の中の様子、代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図や年表、動画などの資料で調べ、狩猟・採集や農耕の生活の様子を理解している。 ② 調べたことをまとめ、人々の生活が変化したことを理解している。	① 世の中の様子などに着目して、問いを見出し、狩猟・採集や農耕の生活への変化について表現している。 ② 狩猟・採集や農耕など人々の生活の様子を関連付けたり比較・統合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。	① 狩猟・採集や農耕の生活の変化について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

#### 4 指導観

##### (1) 教材観

該当する学習指導要領の内容

(2) 我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追及・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。その際我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。

(ア) 狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷（大和政権）による統一の様子を手掛かりに、むらからくにへと変化したことを理解すること。その際、神話・伝承を手掛かりに、国の形成に関する考え方などに関心をもつこと。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

本単元では、縄文時代から弥生時代への変遷を捉え、米づくりの広まりに伴い生活の様子が変化していったことに気付かせる。また、第6学年から始まる歴史学習における初めての学習なので、児童が未来の創り手として、歴史への興味や関心、学び方の見通しをもって歴史学習に臨めるようにしたい。第一時と第二時で提示する縄文時代と弥生時代前期の生活の想像図では、衣食住に着目して昔の人々の暮らしについて考えられるようにする。具体的に、どのような生活をしていたのか、世の中の様子はどのように変わったのかについて考えさせ、NHK for schoolの動画では、疑問点を発見させることで、解決する意欲をもたせたい。課題解決を軸として、縄文と弥生の生活の様子について調べ、まとめ、発表することで原始の生活の変化について意欲的に学ぶことができると考える。

##### (2) 児童観

本学級の児童は、社会科の授業において考えながら話を聞き、課題に対して意欲的に取り組む児童が多い。資料を見ながら、疑問を解決しようと取り組むことができる。

これまで、社会科の授業では、主に政治について扱う「ともに生きる暮らしと政治」の学習を行った。日本高憲法の三つの基本原則について具体的な事例を示して理解を深めたり、日本の抱えている課題解決のために住民と行政がどのような努力をしているのかを社会保障を中心に学んだりしてきた。またスライドを使ってグループで共同編集をし、クラスで発表する経験をしている。

本単元では、人々の暮らしの変化を通して、狩猟・採集文化から稲作文化への移行と社会の変化について学ぶ。初めて日本の歴史を学ぶ児童も多く、意欲的に学ぶことが予想される。一方、

抽象的な学習についてはまだ不得意な段階にあり、身近な生活との具体的な関わりが見えないものに関しては興味関心が高まりにくいことも予想される。そのため、これまで学習してきた現代社会の仕組みが作られた歴史的な背景を探り、これからの未来を考えるとという連続性や関連を意識させたり、想像図や写真、動画、年表を使ったりしながら興味関心をもたせ、学びを深めていきたい。

### (3) 研究主題に迫るための手だて

#### ① 意欲を高める授業づくり

歴史学習に対して苦手意識をもつのは、覚えることが多いというイメージがあると考えられる。そのため、歴史の導入である本単元において「原始の変化を伝えよう（縄文から弥生へ）」という課題を設定し、自分の考えを表現する活動をする。また、資料や動画を通して、児童が疑問を見だし解決していく活動を取り入れる。その際、同じ学習をしている共成小学校の6年生に発表を見てもらい、どのグループが一番変化の良さを伝えられたか票を入れてもらう。（同じ学習をした相手だからこそ、正しい情報であるかや、用いる資料に説得力があるか、新しい発見があるかなどを客観的に判断してもらえる。学校外の人と交流をする新鮮さもある。）目的意識や相手意識が明確になり、かつ学校外の相手を意識することで単元を通しての意欲の高まりを狙う。また、共成小学校からフィードバックをもらうことで学びの深まりも狙う。

#### ② 関わり合う場の設定

衣食住のテーマの中から興味の高いテーマについてグループ分けすることで、疑問を一緒に調べたり、調べたことを共有したりしやすくする。また、タブレットのジャムボードやクラスルームの機能を活用して資料の読み取りをすることで複数の友達と意見を共有できる。さらに、共成小学校の6年生に発表を見てもらい納得票を入れてもらうという目標に向かって、相手意識を明確にもちより良い表現方法を実現するために発表チーム内での関わり合いも必然的に活発になる。そして、毎時間の振り返りを発表グループ内で共有できるようにすることで、個々の進捗状況や考えを見比べたり共感したりすることができ、より深い振り返りになることを狙いとする。

#### ③ 考えの可視化

縄文時代と弥生時代の想像図を示し、ジャムボードを使って比較する活動を行う。追及タイムでは一本足クラゲチャートを活用し調べたことをまとめさせる。個人の考えを可視化し関わり合いへとつなげる。また、表現活動の際には、児童の様々な発想に対応するため、iPad、画用紙、模造紙、新聞、ホワイトボードなどを準備する。なお、高学年では、グループでの考えをより伝わりやすく可視化するために表現方法を自ら選択する力を育成することを狙いとする。

5 単元指導計画・評価計画(全7時間)

時	○主な学習活動	・指導事項 ◇留意点	・評価規準 【評価の観点】 (評価方法)
1	<p>○「狩りや漁をしていたころの様子」の想像図や動画を読み取って、気付いたことや疑問点について話し合う。</p> <div data-bbox="229 685 699 819" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>可視化 ジャムボードを活用しての交流。考えの可視化。</p> </div>	<p>・大昔の人々が、狩りや漁、採集を行って暮らしていたことや、そうした暮らしの様子が変化していくこと。</p> <p>◇疑問点を見付けることを児童に意識付けてから、資料を見る。</p>	<p>【知技】想像図や写真などから、疑問を見付けている。(発言、ノート、タブレット)</p>
2	<p>○「米づくりが広まったころの様子」の想像図や動画を読み取ったり、縄文時代の資料と比較したりして、気付いたことや疑問点について話し合う。</p> <p>○想像図の読み取りから、大昔の人々の暮らしの変化について学習計画を立てる。</p> <div data-bbox="229 1234 699 1395" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>関わり 疑問の共有。</p> <p>可視化 ジャムボードを活用しての交流。考えの可視化。</p> </div> <div data-bbox="363 1480 1078 1552" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>○○の変化を伝えよう。縄文から弥生へ</p> </div>	<p>・弥生時代の人々が、稲作を行って暮らしていたこと。</p> <p>・共成小学校の6年生に評価してもらうことの確認。</p>	<p>【知技】想像図や写真などから、疑問を見つけている。(発言、ノート、タブレット)</p> <p>【思判表】想像図を比べて、その様子の違いから、疑問をもち、人々の暮らしの変化やその要因を関連付けている。(発言、ノート、タブレット)</p>
3	<p>○ミッションの確認</p> <p>○衣食住に注目しながら、班のテーマを決める。</p> <p>○疑問に思ったことを共有し、調べる。</p>	<p>・縄文と弥生の生活には特徴があること。</p> <p>◇追究タイムを十分にとり、課題を解決するために調べさせる。</p> <p>縄文キーワード 狩りや漁、採集・縄文土器・大型竪穴住居、大型堀立柱建物・盛り土など</p>	<p>【態】人々の暮らしの変化について、学習問題をつくり、予想や学習計画を立て主体的に追究しようとしている。(行動、発言、タブレット)</p> <p>【思判表】より伝わりやすいという意図をもつ</p>

	<p>○発表の方法を選ぶ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【意欲】ミッションの設定による意欲の高まり。</p> </div>	<p>【弥生キーワード】米づくり (田おこし、収穫、脱穀)・ 青銅器・立派な建物、楼閣、 井戸、水路・道具や布の製 作・祭りなど</p> <p>◇発表方法について時間や 範囲などを絞り発表の内 容が広がり過ぎないよう にする。</p>	<p>て、表現の方法を選んで いる。(発言、ノート、タ ブレット)</p>
4 本 時	<p>○疑問に思ったことやテーマに沿っ た内容を持ち寄り、発表の内容を話 し合う。</p> <p>○伝わりやすい発表になるように、発 表方法について話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【関わり】疑問を解決する。発表する内容を話し 合う。</p> <p>【可視化】お化けクラゲチャートを活用しての交 流。</p> </div>	<p>・縄文と弥生の生活の変化 から考察できることがあ ること。</p> <p>◇疑問が解決できるような 資料を選んでおき、提示 する。</p> <p>◇お化けクラゲチャートを 使い思考を整理しながら 話させる。</p>	<p>【知・技】調べたことをま とめ、人々の生活が変化 したことを理解してい る。(ノート、タブレット)</p> <p>【思判表】狩猟・採集や農 耕など人々の生活の様子 を関連付けたり比較・統 合したりして、この頃の 世の中の様子を考え、適 切に表現している。(発 言、ノート、タブレット)</p>
5	<p>○発表方法と内容を確認し準備する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【可視化】相手に伝わりやすいグループ発表の準 備</p> </div>	<p>・縄文から弥生への変化を 表現していること。</p> <p>◇相手のことを考えて分か りやすい発表を心がける こと。</p>	<p>【知・技】調べたことをま とめ、人々の生活が変化 したことを理解してい る。(ノート、タブレット)</p> <p>【思判表】狩猟・採集や農 耕など人々の生活の様子 を関連付けたり比較・統 合したりして、この頃の 世の中の様子を考え、適 切に表現している。(発 言、ノート、タブレット)</p>
6	<p>○他のグループにプレ発表を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【意欲】クラス内発表による意欲の高まり。</p> </div>	<p>・伝わるかどうか意見をも らい、より良いものにな ること。</p>	<p>【態】人々の暮らしの変 化について、学習問題をつ くり、予想や学習計画 を立て主体的に追究しよ うとしている。(行動、発 言、タブレット)</p>

7	<p>○共成小学校の6年生への発表動画作成 振り返り</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◎ ミッションの達成による意欲の高まり。</p> </div>	<p>◇共成小学校に示す評価のポイントを玉川小学校の児童にも示す。</p>	<p>【思判表】狩猟・採集や農耕など人々の生活の様子を関連付けたり比較・統合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。(発言、ノート、タブレット)</p>
---	--	---------------------------------------	--

## 6 本時（4時間目／全7時間）

### (1) 本時の目標

- ・調べたことをまとめ、人々の生活が変化したことを理解できる。【知識・技能】
- ・狩猟・採集や農耕など人々の生活の様子を関連付けたり総合したりして、この頃の世の中の様子について表現する内容を考えることができる。【思考、判断、表現等】

### (2) 本時の展開

時間	○学習内容・活動	・指導事項 ◇留意点	【評価の観点】 評価規準 (評価方法)
導入 5分	<p>○単元計画の確認。 ○ミッションの確認。 ○学習時の約束の確認。</p>	<p>・常に課題を意識できるよう掲示する。 ・ミッション：○○の変化を伝えよう縄文から弥生へ ・学習時の約束 ・追及タイム：テーマに沿った資料や、疑問が解決する資料を見付けよう。一人で取り組んでも複数人で取り組んでも良い。 ・表現タイム：調べて分かったことをグループのみんなに分かりやすく伝えよう。相手のことを理解しながら聞こう。共成小学校の6年生を意識して表現方法を選ぼう。</p>	
展開 ① 10分	<p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">追及タイム</span>（整理） ○班の疑問を共有し、それを解決するための資料の読み取りをする。</p>	<p>・解決したい疑問やテーマについてグループで確認させる。 ・疑問が解消されるよう、サイトや動画を精選して示す。 ・本や図、絵などの資料も用意する。 ◇どの資料を選べば良いか分からない児童には、教師から資料を提案する。 ◇お化けクラゲチャートに整理するよう</p>	<p>【知・技】調べたことをまとめ、人々の生活が変化したことを理解している。(ノート、タブレット)</p>

		<p>声をかける。</p> <p>◇追及タイムには表現について話し合わず、十分に資料を集めさせる。</p> <p>◇前時までに調べたことを確認し、共有する前の整理の時間とする。</p>	
展開② 25分	<p><b>表現タイム</b></p> <p>○調べたことを班で持ち寄り、読み取った資料からの情報を厳選し伝える内容を厳選する。</p> <p>○厳選できた班から発表の準備をさせる。</p>	<p>・お化けクラゲチャートの使い方を示す。</p> <p>◇表現方法に悩んでいるグループには「共成小学校の6年生に伝える」という意識を思い出させる。</p> <p>◇表現タイムに資料を再度読み取ったり選んだりすることを認める。</p> <p>・前時までに選んだ班の表現方法を確認する。</p>	<p>【思判表】狩猟・採集や農耕など人々の生活の様子を関連付けたり総合したりして、この頃の世の中の様子を適切に表現する方法を考えている。 (発言、ノート、タブレット)</p>
まとめ 5分	<p>○今日の学びや進捗状況を振り返る</p> <p>○次時の見通しをもつ。</p>	<p>・個人の振り返りをグループで共有し、他の児童の振り返りを見るなどして、理解の助けになったり、知識が広がったりすることを狙う。</p> <p>・発表までの時間数を確認する。</p>	

(3) 板書計画

○○の変化を伝えよう（縄文から弥生へ）	相手：共成小の6年生		
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="padding: 10px;">追求タイム について</td> <td style="padding: 10px;">表現タイム について</td> </tr> </table>	追求タイム について	表現タイム について	
追求タイム について	表現タイム について		

7 ワークシート

(1) 個人用「くらげの足チャート」

?	?	?
↑	↑	↑
?	?	?
↑	↑	↑
💡	💡	💡
↑	↑	↑
🔍	🔍	🔍
↑	↑	↑

(2) 班用「お化けくらげチャート」

	?	グループ
↑	↑	↑
?	?	?
↑	↑	↑
💡	💡	💡
↑	↑	↑
🔍	🔍	🔍
↑	↑	↑